

# ヘルパンギーナについて

乳幼児を中心に夏に流行する感染症の1つです。

エンテロウイルス群の中のいくつかのウイルスが原因となります。

38℃～40℃近い高熱が2～3日続きます。口の中や、のどの奥に水疱ができて強い痛みがあり食事が摂りにくくなります。

まれに急激な発熱に伴う熱性痙攣を起こす場合もあります。

## 症状

- 発熱
- 口の中、のどの強い痛みなど・・・



## 治療

- 特効薬がないため、症状に合わせた対症療法になります。
- のどの痛みが強く水分が摂れず脱水がひどいときには点滴による治療が必要になることがあります。

## お家で気をつけること

- のどが痛いので、熱い物・辛い物・しょっぱい物・すっぱい物はさけ、のどごしが良く消化の良い食事にしましょう。
- 脱水を予防するために水分摂取を心がけましょう。
- 痙攣を起こしたときはすぐに病院を受診しましょう。

## こんなときはもう一度診察を・・・

- 口の中の痛みが強く、水分が摂れないとき
- 高い熱が3日以上続くとき
- 元気がなくぐったりしているとき

おだいじにどうぞ

医療法人 仁寿会 菊池医院